

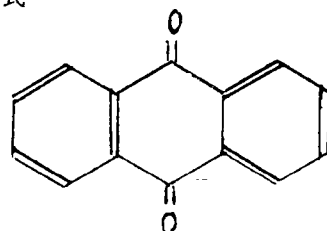
アントラキノンの分解度試験成績報告書

1. 試験期間 昭和49年11月10日～昭和49年12月27日

2. 試料名 アントラキノン (試料No K-105)

分子式 $C_{14}H_{10}O_2$

構造式



3. 試験方法及び条件

環 保 業 第 5 号 }
薬 発 第 6 / 5 号 } 微生物等による化学物質の分解度試験による
49基局第392号 }

3.1 試験装置

酸素消費量自動測定機

3.2 酸素消費量測定

3.1の記録による

3.3 生分解試験後の直接定量法

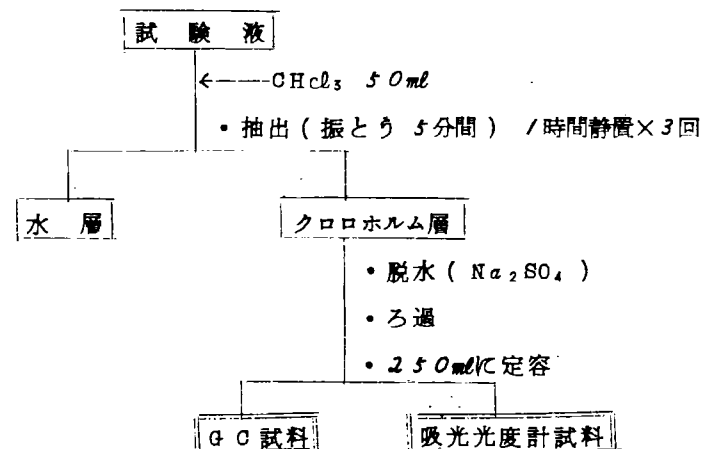
(a) 使用分析機器

ガスクロマトグラフ 検出器 FID

紫外可視自記分光光度計

(以下余白 次頁に続く)

(b) 分析試料の前処理



(c) 分析条件

ガスクロマトグラフ (GC) 検出器

キャリアガス N_2 1.0%

充てん剤 SE-30

ステンレスカラム 3mmφ × 1m

昇 温 150°C → 200°C

速 度 10°C/min

紫外可視自記分光光度計 (吸光光度計)

波 長 280nm ~ 370nm

スリット幅 4nm

使用セル 10mm × 10mm

(以下余白 次頁に続く)

4. 試験結果

		分解度(%)	付 図	付 表
酸素消費量による結果	2 W 後	29.7	/	—
	3 W 後	52.3		
G C による結果		88.1	2 a, 2 b	/
吸光光度計による結果		75.7	3, 4	2

以 上